

東京都 台東区

台東区における精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの
必要性への理解とこれに対応した施策の推進について

1 県又は政令市の基礎情報

○県・○市・○区



取組内容

- ・
- ・

基本情報（都道府県等情報）

障害保健福祉圏域数 (R2年4月時点)		1	か所
市町村数 (R●年●月時点)			市町村
人口 (R2年4月時点)		202,886	人
精神科病院の数 (R2年4月時点)		1	病院
精神科病床数 (R2年4月時点)			床
入院精神障害者数 (R1年6月時点)	合計	336	人
	3か月未満 (%:構成割合)	62	人
		18.5	%
	3か月以上1年未満 (%:構成割合)	86	人
		25.6	%
	1年以上 (%:構成割合)	188	人
		56.0	%
うち65歳未満		68	人
うち65歳以上	120	人	
退院率 (R●年●月時点)	入院後3か月時点		%
	入院後6か月時点		%
	入院後1年時点		%
相談支援事業所数 (R2年4月時点)	基幹相談支援センター数	1	か所
	一般相談支援事業所数	1	か所
	特定相談支援事業所数	1	か所
保健所数 (R2年4月時点)		1	か所
(自立支援) 協議会の開催頻度 (R1年度)	(自立支援) 協議会の開催頻度	2	回/年
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	有・無	
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況 (R2年4月時点)	都道府県	有・無	か所
	障害保健福祉圏域	有・無	/
	市町村	(有)無	1/1
			か所/市町村数

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

・《令和2年度に取り組む事業》

①協議の場の設置

すでに設置している「台東区精神保健福祉推進協議会」において、本課題について協議を行っていく。

②措置及び医療保護等入院者への退院後支援の実施

東京都のガイドラインにそって、退院支援を実施していく。

③職員研修及び啓発事業の実施

行政職員をはじめ、精神障害者支援に携わる職員や高齢者支援委携わる職員など幅広く研修及び啓発を行う。

④地域の社会資源の見直し

区内にある精神障害者を主に支援している社会資源について、既存の役割を再度確認し新たな役割が担えるか検討する。

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

(1) 経緯

平成30年3月に策定した「第5期台東区障害福祉計画」のなかで、障害者の地域生活支援を充実させるための施策として「地域生活支援体制の整備」を掲げた。この中で、精神障害者が地域の一員として安心して暮らすことができるよう、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築を図るとした。

(2) これまでの取り組み

精神保健福祉推進協議会の実施

基幹相談支援センター及び区内計画相談事業所との連絡会の開始

退院支援についての検討(所内)

23条通報後の処遇調査

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜令和元年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R1年度当初)	実績値 (R1年度末)	具体的な成果・効果
①保健・福祉・医療による協議の場の設置	開催	開催	精神障害者が地域において適切に支援を受けられるよう区内に所在する各関係機関と意見交換を行い、連携を図ることを目的とし年1回開催する。
②病院への周知及び訪問	実施予定	実施予定	台東区民が主に入院している病院に対して、制度の周知及び訪問を実施することにより、退院支援窓口を把握してもらう。
③職員研修及び啓発事業の実施			

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

台東区では、精神障害にも対応した構築支援事業を取り組むにあたり、まずは区内の資源の再確認及び、台東区が抱えている特殊な状況を鑑みて、どのような形でなら対応が可能かを検討していきたい。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
区内資源の再編成	区内に所在する支援施設(資源)の役割を再確認し、新たな役割担えるか検討する。	行政	検討素材の洗い出し、検討、検証
		医療	必要時に情報共有
		福祉	担っている役割の業務量を洗い出す
		その他関係機関・住民等	
退院支援窓口の周知	区民が主に入院をしている病院へリーフレットなどを活用し、退院支援の窓口を周知するとともに、適宜病院訪問を行い情報共有をする。	行政	リーフレットの作成、電話、郵送、訪問
		医療	適宜情報共有
		福祉	—
		その他関係機関・住民等	—

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和2年度末)	見込んでいる成果・効果
①			
②			
③			

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の取組スケジュール

時期(月)	実施する項目	実施する内容
R2年9月	窓口の周知	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットの作成 ・主な病院へのアプローチ又は訪問
10月	区内社会資源の再確認	<ul style="list-style-type: none"> ・期間相談支援センター及び計画相談事業所との連絡会 ・B型作業所との情報交換 ・今後必要と思われる社会資源の検討
R3年2月	協議の場の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度実施したこと及び今後の方向性の報告、意見聴取 ・振り返り

モデル圏域から自治体全体への展開に向けた方針

自治体全体への展開に向けた方向性



<自治体全体への展開に向けた具体的な取組方針>

1年目(令和2年度)

2年目(令和3年度)

3年目(令和4年度)

個別のモデル障害保健福祉圏域(以下圏域)の取組や成果等を踏まえ、自治体全体への展開に向けた方針を記載して下さい

事業実施圏域毎に次ページ以降の スライドを作成して下さい。

例) 2箇所の圏域(A・B)がある場合、
A圏域(表紙(10)、1~4(11~14)スライド)、次にB圏域となります。

政令市或いは特別区で、本事業におけるモデルの取組が
1自治体1圏域の場合、基礎情報や目標値等、
情報の重複が発生してしまいますが、
データをコピーしながらご作成いただけますと幸いです。

※市内を複数のブロックに分けて実施されるような場合は、
「ブロック=圏域」と捉えていただいて構いません。

〇〇県、〇市、〇〇区

〇〇圏域

タイトルを記載

〇〇県又・〇〇市・〇〇区では……。

2 精神障害にも対応した地域包括ケアの構築支援事業 実施前の課題・実施後の効果等

＜令和元年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R1年度当初)	実績値 (R1年度末)	具体的な成果・効果
① 昨年度会議で設定した指標			目標値に対して実績値が、 どのようになったかを記載のうえ、 どのような成果・効果があったか、 具体的にご記載ください
② や目標値を転記、または			
③ 参考にご記載ください			

構築支援事業に

①今年度より参加する自治体

⇒過去の取組を振り返り、ご記載ください

②2年目以降の参加自治体

⇒昨年度(R1年度)当初に立てた目標や指標に対する振り返りをご記載ください

※ただし、圏域が今年度より初参加の場合、①と同様にご記載ください

3 圏域の強みと課題

【特徴(強み)】

●●

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
●●	本スライドは今年度の取組の計画・構想等についてご記載ください	行政	●●
		医療	●●
		福祉	●●
		その他関係機関・住民等	●●
		行政	
		医療	
		福祉	
		その他関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和2年度末)	見込んでいる成果・効果
① ●●●			
②			
③			

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の特別に考える必要がある事項について

考えられる事項	想定される次期 (方向性判断の必要性が 考えられれる次期)	実施する内容
<p style="text-align: center;">新型コロナウイルスの状況等を鑑みて 特別に考える必要がある事項等について記載</p> <p>Ex.)</p> <ul style="list-style-type: none">・自粛期間の延長等による会議・研修等の開催が困難な場合の対応・保健所等が今年度事業に参加不可(あるいは協力が困難)な場合等の対応		